



Thoreau



愛用者の声



「茨城の森を守る」にも共感



加藤節子さん

「こすもすくー」園長夫人
●大洗町

園 長の主人は、ゆらぐ炎を見るのが好きで、薪ストーブにずっとあがっていました。それで、園舎を建てる時には薪ストーブを置きたいと思いましたが、設置場所の安全面を考えると現実的には保育室に置くことは無理で、あきらめていました。2年ほど前、カタログでペレットストーブ「ソロー」のことを知り、ました。「茨城の森を守る」というキャッチコピーにも共感し、早速、夫婦で体感ルームに行ってみました。そこで「ソロー」なら安全性、設置場所、燃料など心配していたことはすべて解決できることがわかったのです。

園のメインの教室は40畳ほどの広さですが、日中はこのストーブ一台で十分な感じ。排気は外に出されますから空気の汚れを気にせず、臭いがないのもいいですね。子どもたちには炎の見えるストーブは珍しいようです。興味津々で見ている子どもたちの様子を眺め、主人は小学生の頃、ダルマストーブの周りに集まって友達とワイワイしたり、お弁当を温めて食べたりしたことを懐かしく思い出しています。時代は違いますが、そのような楽しい思い出が少しでも子どもたちの心に残ってくれたらと思いますね。保護者からも「空気を汚さないクリーンなストーブで、気分を落ち着かせてくれますね」と評判です。保育士の春日千晴さんは「自然な暖かさなので、子どもたちと一緒に遊んだり、本を読んだり、活動しやすい」とお気に入りです。

「こすもすくー」園長加藤嘉一よしたか。昭和58年創立。幼児教室。
住所/茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 2889-1、電話/029-266-1377



嶋田元さん

「つくばね森林組合」代表理事組合長
●石岡市

「つくばね森林組合」住所/石岡市柿岡 1764-2、電話/0299-44-0167
営業時間/8:30 ~ 17:30、定休日/土日祝日休み、
ホームページ/ <http://www.tsukumori.com/>



業務係長の清水雅宏さん(右)と参事兼総務課長の小松崎節子さん(左)。

「建築材にならない木もペレットに利用できれば、山がきれいになります」

つくばね森林組合は、「美しい森林を未来へ」をテーマに森を守り、森を育て、森を活かすことに取り組み、良質な木材の提供、林業指導、森林に親しむ活動などの業務を行っています。人にも地球にもやさしいペレットストーブ「ソロー」は、まさに私たちが大切にしているモットーと共通していて、この事務所にぴったりな暖房機ではないかと改めて感じています。この建物はコンクリート造りで、「ソロー」を設置するまでは、エアコンと石油ストーブを併用していましたが、それでも足元は冷えて寒さ対策に頭を悩ませていました。ところが、このストーブを使い始めてからは、事務所のどこにいても暖かく、快適に仕事ができるようになったと評判です。特に、小松崎さんをはじめとする女性職員たちからは、石油ストーブのような独特な臭いがなく、音も静かで、暖かさが柔らかく心地よいとのこと。

設置場所は事務所の入り口付近なので、来客者の目に留まりやすく、「これ、いいね!」どのメーカー?」などと声を掛けられることもあるようです。うちの業務内容と共通するものがあるので、茨城の森を守ることや自然環境など、そこから話題が発展して話が盛り上がるんですよ。職場ではそれぞれの仕事に忙しいので、毎日の手入れに時間がかからないのもいいですね。毎朝、一番に出社する清水君が「ソロー」のお手入れと着火をしています。「朝にペレット一袋を入れれば一日中使用できるので、朝の簡単な手入れだけで終日使用できる手軽さもいい」。

寒さが厳しくなる季節でも「ソロー」が優しく暖めてくれるので、今日も一日また頑張ろうという気分になります。



未来の林業の担い手

大子清流高校

森林科学科のみなさん

(6頁参照)

「伐って、植えて、育てて、伐る」の 循環型林業の促進。 間伐中心から 皆伐中心の林業へ。

首都圏北部に位置し、東北自動車道や北関東自動車道など
東京と東北・北海道を結ぶ南北軸と、太平洋・日本海ゲートを結ぶ
東西軸が交差する地理的優位性を生かし、物流の拠点として
大きな役割を有する栃木県。林業界においても素材生産量及び
製材品出荷量が関東甲信越地域において常に1位を誇るなど、
地域をリードする役割を担っています。また国内有数の
木材生産・流通の拠点としてのさらなる発展を目指し、
循環型林業への取り組みが進められています。

野中典子（ライター）／千葉慶一（小社ソロー事業部）



図1 3つの森林計画区
出典：H27年版栃木県森林・林業統計書より

那珂川森林計画区

| 区分 | 面積（ヘクタール） |
|------|-----------|
| 森林面積 | 132,718 |
| 国有林 | 42,509 |
| 民有林 | 90,209 |

鬼怒川森林計画区

| 区分 | 面積（ヘクタール） |
|------|-----------|
| 森林面積 | 142,658 |
| 国有林 | 82,104 |
| 民有林 | 60,554 |

渡良瀬川森林計画区

| 区分 | 面積（ヘクタール） |
|------|-----------|
| 森林面積 | 73,331 |
| 国有林 | 3,165 |
| 民有林 | 70,166 |

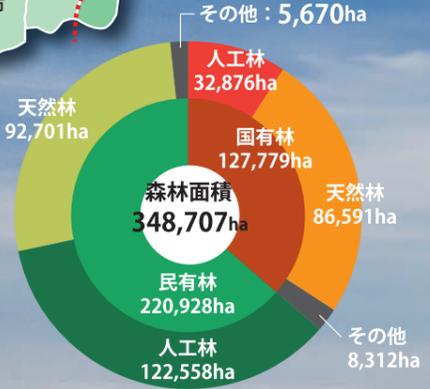


図2 栃木県の森林の内訳
出典：H27年版栃木県森林・林業統計書より
※端数調整のため合計値は一致しない

※1 森林蓄積：森林を構成する樹木の幹の体積。
※2 スギ人工林の造成・保育には、植栽から50年生までに平均で約248万円/haの費用を要する。（林野庁「森林・林業白書」より）
※3 栃木県林業振興課調べ

他県産材に依存しない体制づくりの「カギ」は労働力の確保と低コスト化。

森林面積 栃木県内の森林面積はおよそ35万ヘクタールで、県土の約55%を占めています。

森林法に基づき、県の東北部に位置する「那珂川地域」、県の中央部に位置する「鬼怒川地域」、県の南西部に位置する「渡良瀬川地域」に分けられ、立木の伐採、造林、保育などの森林施業を計画的に行っています。

国有林 森林面積のうち、約37%が国有林で、その面積は約13万ヘクタールです。内訳は人工林が約26%、天然林が約68%と天然林の割合が高くなっています。

民有林 森林面積のうち約63%は民有林で、面積は約22万ヘクタールです。その内訳は人工林が約56%、天然林が約42%と人工林の占める割合が高く、人工林のうちスギが約31%、ヒノキが約21%を占めています。また人工林の平均林齢は10齢級（46～50年生）と高く、伐採期を迎えた森林資源が豊富であることを示しています。さらに11齢級（51～55年生）以上が5割以上を占め、森林蓄積（※1）も毎年増加するなど、将来にわたって木材の安定供給を図るためにも「伐って、植えて、育てて、伐る」という循環型林業への転換を迫られています。

そのためには、計画的な間伐を進めることはもちろんですが、さらに皆伐を促進させることが大きな課題となっています。

ここで皆伐を促進するモデル事業が創設され、新たな森林施業への取り組みも始まっています。これは、皆伐施業により、機械化の促進、さらには森林資源をフル活用し、ABC材全量を出荷できるようになることから「伐って、植えて、育てて、伐る」という循環型林業経営が可能になるのです。また、循環型林業にシフトするためには皆伐後の再造林（植えて、育てて）が必須になりますが、ここで問題になるのが、再造林のための費用と労働力です。

例えばスギ人工林の造成・保育には、長い時間と費用が必要になり（※2）、それに携わる林業従事者の確保も不可欠です。するとそれらがネックとなり、日本各地で皆伐後に造林を行うことができず、放置されたまま荒れ果ててしまう山が多く出現するという問題も起きています。それは栃木県においても例外ではなく、皆伐後の再造林を確実に行うためには若い世代の就業者の増加及び造林・保育作業の低コスト化、苗木の安定的供給など様々な条件を整える必要があるといえます。

今後、国内有数の素材及び製材品生産の重要拠点としての役割を果たす栃木県がさらなる発展を遂げるためにも、皆伐中心の循環型林業へ早期転換を図り、充実した森林資源を最大限に活用することが求められています。

千葉の山を守り再生するために、 「千育千活」を目指す 千葉県森林組合の奮闘。

千葉県内には、千葉県森林組合、千葉市森林組合の2団体がありますが、全国の組合数平均13に比較しても、大阪について少ない数になっています。組合の変遷を見てみると、組合加入者数は40年前の6割程に減少し、組合数も昭和50年の40組合から減少の一途をたどり、平成18年には14組合が合併し、現在の2組合になっています。

野中典子（ライター）／千葉慶一（小社ソロー事業部）



千葉県森林組合事業課長の磯部良己さん（左）と事業担当那須章人さん（右）に案内していただいた民有林。小社林業班が3月に間伐、後ろの大径木は樹齢300年になるというスギ。

森林整備の中心的な担い手である 森林組合の変遷とこれからの役割。

森林組合数及び組合員数は全国的に減少傾向にあり、各地域において、合併及び再編成が行われています。これは昭和38年の森林組合合併助成法、平成14年の企業組織再編税制により合併を積極的に促進したことが要因の一つになっています。

さらに千葉県における要因を見てみましょう。合併前の平成15年度「森林・林業統計書」によると払込済出資金額が100万円以下の組合が8組合あるなど、組合間の経営規模事業展開に大きな格差があったことがわかります。また、千葉県の民有林における組合員面積及び組合員一人当たりの所有面積（※）は全国的に見ても非常に低い数値で、その中で事業収益を上げ、経営基盤を強化するには、組合施設の統廃合や人件費の削減、森林整備事業においても小規模施設から集約化施策への変換を図るためにも、森林組合を合併及び再編し、大幅な事業改善を図る事は必然の流れだったと言えるでしょう。

今回は、平成27年に組織再編を行い、現在2支所（北部、南部）、2事業所（北総、安房）体制で運営を行い、千育千活（千葉で育った森の木を千葉の生活に活かす）を理念に森づくりのプロとして、森林管理、技術指導、森林整備など幅広く活動する千葉県森林組合にお邪魔し、森林整備など組合の事業について、事業担当の那須章人さん（32歳）に話を伺いました。「山主さんが何に困り、何を望んでいるのかを理解し、将来どのような山にしていくのかを明確にし、プランを提案

します」。しかし、現在は山主さんにとって山は魅力を失っているといえます。「森林整備を行うには国や県の補助金に頼らざるを得ず、木を切ってもほとんど収入にはなりません。そのため山に対する関心も低くなり、手を入れる必要性を感じなくなっている山主さんも増えていきます。山に生産性がなく、収入につながらないのが何よりの原因です」。それでも組合での仕事はやりがいがあるといえます。「非赤枯性溝腐病に蝕まれ荒れた森林は皆伐後、植栽、下刈りを、手入れの遅れた山林は間伐を行い、苗木を植え、手入れを続けることで、山の再生につながる事が何よりの喜びです」。

さらに、近年力を入れているのが、県産材の利用促進です。平成27年に県内の工務店6社とともに「ちばの木づかい協議会」を誕生させました。木材情報（産地・素材）が明らかで確かな品質の「ちばの木認証材」を森林組合が直接工務店に納入し、その認証材を使用した「ちばの木の家」を提供することで、県産材の安定的な供給を促し、計画的な森林整備を促そうというものです。事業を進める事業課長の磯部良己さん（52歳）は、「まだ認証材が少なく、取扱量も少ないのですが、間伐が2回、3回と進むことで、森林が再生し質のいい材が多くなれば、認証材の供給も安定します。そのためにも荒れた森林を循環する森に再生し、誰もが気持ちいいと感じる山を増やすのが一番の目標です」。

千葉県の森林整備のほとんどを担う森林組合が、今後も継続的に森に手を入れていくためには、山主の意識変革、協力姿勢が不可欠です。これは、千葉県に限らず、全国的な森林組合における課題でしょう。

非赤枯性溝腐病に蝕まれたサンブスギ林は皆伐を行う。その後、植栽、下刈りなどの手入れを行いながら、長い年月をかけて保育し、成長を見守る。

※千葉県の組合員一人当たりの所有面積はおよそ23ヘクタール。全国平均の7ヘクタールを大きく下回る（林野庁 森林・林業統計要覧 2016より）。



「教育の森」として県に登録された森林。間伐体験や職場体験など、子供たちが森林に触れるきっかけとなっている。



県内唯一の森林科学科を有する 太子清流高校が未来の 林業の担い手を育てる。

茨城県の林業を支える林業従事者は減少の一途を辿り、さらにその半分以上を50歳以上が占めるという高齢化が進んでいます。しかし近年、10代から40代の占める割合が少しずつ増えるなど、若返りの傾向が見られるようになりました(国税調査より)。そんな中、将来の林業従事者を育成する教育現場でも新たな取り組みが始まっています。今回は、久慈郡太子町の「茨城県立太子清流高校」を訪れました。

野中典子(ライター) / 千葉慶一(小社ソロ事業部)

命を育む森林の重要性や森林がもたらす資源について実体験として学ぶ場。

森林科学科では、1年生5名、2年生13名、3年生11名の合計29名が森林経営、測量、林産加工、森林環境などの専門科目を学ぶほか、下草刈り、森林伐採などの実習も行っています。さらに、海外研修や木材会社、バイオマス発電所の見学など、現場で学ぶ機会も豊富にあり、地域と連携し、将来、森林・林業のスペシャリストとして活躍できる人材を輩出する重要な役割を担っています。



太子清流高校の実習林で、江幡先生の話聞く森林科学科3年生の生徒たち。

今回は、森林科学科3年担任の江幡和土先生(40歳)に、3年生の課題研究の授業を案内していただきました。敷地内

にある演習林や実習棟では、建築班、木材加工班、オオクワガタ班、作物班がそれぞれの研究テーマに従い専門的な研究を行っていました。どの班を覗いても生徒の技能レベル、実習に対する意識の高さに驚きました。さらに、将来の進路について聞いてみると、「森林科学科に入ってから、専門的な学習や実習を行う中で、森林やものづくりに対する興味が強くなり、将来も林業やものづくり関連の仕事に就きたい」という回答がほとんどでした。卒業後の進路状況について江幡先生に伺うと、「進学、公務員採用、民間企業就職とどの分野においても、森林科学科で学んだ強みを生かした進路を実現しています」とのこと。森林や林業に触れた実体験が、卒業後に林業関係の仕事に就くという将来像を描ききっかけとなり、将来の職業選択に大きな影響を与えていることは言うまでもありません。今後、林業従事者を増やすためには、できるだけ早い時期から、森林や林業に触れる機会を作ることが必要なのかもしれません。

全国から生徒を受け入れる太子清流高校 森林科学科とそれを支える里親制度。

平成20年度より森林科学科への入学を希望する生徒を全国から募集し、太子町まちづくり課と連携し、他県から入学した生徒を家庭で受け入れる里親制度もスタートしています。全国募集を行う公立高校は79校ありますが、そのうち林業関係は、太子清流高校を含めて2校しかありません。さらに、

全国募集を行う高校のほとんどが寮や下宿の斡旋のみなのに対し、里親制度やホームステイを行うのは数校のみです。このように全国でも珍しい里親制度のある森林科学科の全国募集ですが、今年、初めて二人の生徒が入学し、そのうちの一人が里親制度を利用しています。今回、太子町より委託を受け、太子清流高校初の里親として生徒さんを受け入れている、星國晴さん(71歳)、しんさん(65歳)ご夫妻に話を伺いました。「高校から里親として生徒の受け入れに協力して欲しいとの相談があり、私も以前は教員として生徒指導に長く関わっていたので、協力しようと思いました。生徒さんも志を持ってここに来ることを決意したので、こちらから、精一杯サポートしようと思いました」と國晴さん。しんさんも「私も社会貢献に関心があり、何か役に立てることがあるならやってみようと思いました」と口を揃えます。実際の生活にはどのような変化があったのでしょうか。「夫婦二人だけの時とは生活が一変し、食事作りなどの苦勞もありますが、成長を間近で感じられることが何よりの楽しみ。生活にハリも増えました」とご夫妻。生徒さん自身も、豊かな自然環境での暮らしを満喫しているようで、「将来大人になった時にここでの生活が役に立ったと思うてもらえれば嬉しい」と星さん。

太子清流高校の森林科学科が全国募集を行い、それを地域が支える里親制度はようやくスタートしたばかりです。このように、学校が地域と連携し、林業と若い世代を結ぶパイプ役としての役割を果たすことで、若い世代が林業に対する認識を新たにし、今後の林業を支える人材の育成に繋がっていくのではないのでしょうか。



里親制度の今後について話す星さんご夫妻。



学校の敷地内に東屋を建てる建築班。設計から左官作業まで、先生と生徒たちとで、およそ2年間かけて作り上げる力作も、まもなく完成する。



林業機械などが揃う木工室。先生の指導のもと、教室で使う椅子を作る木工加工班の生徒たち。

日々是山日和

はじめまして、林業班の福山です。ペレットの原料となる原木の調達を担当しています。受け入れもしていますが、自ら山に入って伐採もします。山作業をはじめて2年ほどの私にとっては驚きの連続。そんな驚きと、私が取り組んでいる山仕事のことを楽しくレポートしていきます。

今回のテーマ

踏査 (とうさ)



木の伐採をはじめるときの第一歩は森の「踏査(調査)」です。

伐採する森は平地もあれば山もあり、どの現場もまず調査しなければ始まりません。エリアは？ 樹種は？ 量は？ 障害物は？ どう運び出す？ などなど、現場を把握し、伐採から丸太の搬出までをイメージし、計画を立てるためです。だから、実際に現場に入り、歩き回って森を調べる「踏査」からはじめます。これが意外と大変。入口はないので、足を踏み入れた場所が入口です。道もありません。

一緒に踏査するのは林業班の宮崎忠久。山では滑落したり、動物に出会ったり、何があるかわからないので最低でも二人で入ります。先行する宮崎が地図を片手に草木を鉋で掻き分けながらジャングルのような森を進みます。しかし杭がすぐに見つかるわけはありません。山主さん自身が忘れていたり、知らなかったり、土砂に埋もれている場合もあります。あるところ場所を何度も歩いたり、土をよけたりして探すので、見つけた時はまるで宝物が見つかったかのようにうれしくなります。

昔の山主さんは境界の目印に木々を植えたり、石や木に印をしておいて自分の山を把握して手入れしてきました。しかし月日が経つにつれ、引き継いできた山主さん自身が山に入る機会が少なくなり、把握できなくなっている様子を見ると、山と人が離れてきている現実を感じます。

伐採計画を練るために山を「踏査」する。

今回の学び

樹種、土質、斜度……。同じ山でも場所によって状況が変わる。足を使って歩けば歩くほど山のことばかり、施業計画の精度もあがる。

⑤ 地図にまとめる。

朝からはじめた踏査も夕方に終了。見つけた杭や目印を1枚の地図にまとめます。赤い線が我々の足跡です。



④ 境界杭、見つかる!

やっと見つけた! こうやって周りの木や岩にマーキングをしてくれていると助かります。



昔の人は石にマーキングしたり、周りと違う樹種の木を列に植えたりして境界をわかるようにしていた。

③ 行く手を阻むもの。

急斜面、沢など我々の行く手を阻むものがたくさん。山は甘くありません。宮崎もすこし苦戦。



イノシシの札をみつけたときはヒヤヒヤです。



② 境界杭を探す。

写真は一緒に踏査する宮崎。普段は寡黙な男ですが、草木をもとめせず切り開いて進んでいきます。



GPS機器を用いて自分がどの辺にいるかを把握する。



① 入山

今回はケモノ道のような入口から入山。ときには入ったところが入口になるくらい険しい場所も。



福山英臣(カタログハウス社員) 林業経験2年。ウェブやカタログの編集を経てソロー事業部へ。昼は山、夜は事務作業と奮闘。38歳、3児の父。

体感ルームのご案内

【八郷 体感ルーム】

茨城県石岡市小見 1048-1
 電話 **0299-57-1181**
 【営業時間】
 10:00～17:00
 【定休日】
 水曜日、年末年始
 【交通】
 ・恋瀬小から約0.8km
 ・福原駅から約9.0km
 ・フラワーパークから約9.8km
 ・石岡駅約16.7km



駐車場あり



【守谷 体感ルーム】

茨城県守谷市松ヶ丘 3-20-1
 電話 **0297-38-6621**
 【営業時間】
 10:00～17:00
 【定休日】
 水曜日、年末年始
 【交通】
 ・守谷駅中央西口から関東鉄道バス
 ・「美園循環」乗車「松ヶ丘3丁目」で下車徒歩2分。
 ・守谷駅西口からタクシーで約5分。



駐車場あり



【千葉 体感ルーム】

千葉県千葉市若葉区貝塚 2-2-3
 電話 **043-308-4188**
 【営業時間】
 10:00～17:00
 【定休日】
 水曜日、年末年始
 【交通】
 ・JR 都賀駅から徒歩12分
 ・JR 千葉駅からバスで20分
 ・京葉道路「貝塚IC」出口から車で5分



駐車場あり



ペレットストーブ『ソロー』 栃木県での販売もはじまりました。

販売店ではペレットも販売しています(1袋10キロ/税込637円、他社製ストーブにも使えます)。
 ジョイフル本田(宇都宮店)でもペレットのみ販売中。

【益子町】もえぎ本店



栃木県芳賀郡益子町上大羽堂ヶ入 2356

電話 **0285-70-8111**

【営業時間】 11:00～18:00 (11～2月は17:00閉店)

【定休日】 水曜日、年末年始

駐車場あり



ソローペレットが、最寄りのホームセンター等で1袋から買えます。

茨城県

里山ホテルときわ路

常陸太田市増井町
 0294-72-4141 [9:00～21:00]

ジョイフル本田 ニューポートひたちなか

ひたちなか市新光町 34-1
 029-265-5325 [9:00～19:30]

山新 グランステージ 水戸店

水戸市酒門町上千束 3234-1
 029-246-1111 [9:00～20:00]

ホームジョイ本店 石下店

常総市古間木 1850
 0297-30-8888 [9:00～19:00]

住宅リフォーム工房

筑西市二木成 1460
 0120-22-6675 [10:00～18:00]

ホームジョイ本店 潮来店

潮来市須賀 2837-1
 0299-66-7777 [9:00～19:00]

山新 グランステージつくば店

つくば市面野井字登戸 44
 029-849-2222 [9:00～20:00]

伸栄工業株式会社

かすみがうら市上稲吉 1751
 029-831-5315 [8:30～17:30]

茨城県

千葉県

ジョイフル本田 荒川沖店

土浦市北荒川沖町 1-30
 029-841-2211 [9:00～19:30]

住まい工房ナルシマ

取手市駒場 2-14-12
 0120-885-119 [8:30～19:00]

ジョイフル本田 守谷店

守谷市松ヶ丘 3-8
 0297-48-8020 [9:00～19:30]

蔦ストーブのアース・リー香取本店

香取市津宮 3982-63
 0120-56-2669 [9:00～18:00]

ジョイフル本田 千葉ニュータウン店

印西市牧の原 2-1
 0476-47-6811 [9:00～19:30]

白門建設

千葉市稲毛区小沖台 4-13-10
 043-285-3888 [9:00～17:00]

千葉県森林組合 北部支所

市原市飯給 1079
 0436-96-0004 [8:00～17:00]

千葉県森林組合 北総事業所

東金市上布田 190
 0475-55-9474 [8:00～17:00]

千葉県

栃木県

ローカルダイニング TOTOYA

山武市松尾町木刀 1340 0479-86-6060
 [11:00～14:00、17:00～20:00]

ログハウスのメイン・ハウゼ

茂原市千町 1003-9
 0475-44-7000 [10:00～18:00]

千葉県森林組合 南部支所

君津市西栗倉 135
 0439-37-2004 [8:00～17:00]

千葉県森林組合 安房事業所

南房総市和田町黒岩 380-5
 0470-47-2227 [8:00～17:00]

アブラ 新松戸本店

松戸市新松戸 5-149
 047-348-5070 [9:00～18:00]

筑波産商ショールーム

宇都宮市下栗町 2292
 028-656-3721 [10:00～18:00]

もえぎ 本店

芳賀郡益子町上大羽堂ヶ入 2356
 0285-70-8111 [11:00～18:00] ※11～2月は17:00閉店

ジョイフル本田 宇都宮店

河内郡上三川町磯岡 421-1
 0285-57-2111 [9:30～19:30]

インテリアショップ F-ism

小山市駅南町 4-27-1
 0285-39-6629 [11:00～20:00]

ソロー
 ペレット1袋
 (10キロ)
 637円(税込み)



ソローペレットについてのお問い合わせは以下のフリーダイヤルまで。

☎ **0120-058-059**

カタログハウスお客様センター
 月～金は午前9時～午後7時
 土曜は午前9時～午後6時(日曜祝日は休業)

カタログハウス ソロー事業部

カタログハウス ソロー

検索

【小山市】インテリアショップ F-ism



栃木県小山市駅南町 4-27-1

電話 **0285-39-6626**

【営業時間】 11:00～20:00

【定休日】 木曜日、第1・第3水曜日、臨時休業あり

駐車場あり



【宇都宮市】筑波産商ショールーム



栃木県宇都宮市下栗町 2292

電話 **028-656-3721**

【営業時間】 10:00～18:00

【定休日】 水曜日、年末年始、臨時休業あり

駐車場あり

